

大阪での抗議行動には子連れの姿も見られた。23日、大阪市浪速区、広島教団撮影



## 若者は訴え続ける

わたしたちは訴え続ける――。安全保障関連法案をめくり、23日も学生たちを中心とした抗議行動が全国であった。呼びかけたのは首都圏の学生たちで作るSEA L D S。集会やデモは64カ所に及び、激しい暑さが残る街頭で声を上げた。

### 大阪で東京で…一斉デモ

### ウォッチ

### 安保国会

SEA L D Sは東京・青山でデモ。約6500人が参加したといい、深夜バスで7時間ほどかけて来た若手大生もいた。労働組合の中央組織・連合は国会周辺で岡田克也・民主党代表やSEA L D Sのメンバーも参加した集会を開き、約1万4千人（主催者発表）が国会を取り囲んだ。連合主催の集会に学生団体の代表が参加するのは異例だ。

SEA L D S K A N S A Iは京都市内に集い、思進があった。

## 誕生日に参加決めた19歳 冷めた自分恥じた20歳

安保関連法案の審議が続いた今夏、若者たちが立ち上げたデモは各地に広がっていった。

23日に東京・青山であったSEA L D Sのデモの最前列では、上智大1年の中川えりなさん(19)が横断幕を手に声をあげ

### 悩んで考えた それぞれの夏

ていた。6月の誕生日に「何か特別なことを」と思い立ち、デモにでかけたという。

一方で東京都内の女子短大生(20)はこの夏、悩み続けた。7月、初めてデモに参加したとSNSに投稿すると、「洗脳され

てる」などと書き込まれた。いつも「いいね!」をくれる友達も沈黙し、2度目に踏み出せなくなかった。

衆院通過時の熱気をテレビで見ながら「どうせ通るなら意味がない」と冷める一方で、涼し

い部屋にいる自分を恥じた。8月、再び足を運ぶようになり、23日は列の後方で参加。新しい友達もでき、デモの写真をまた投稿してみようと決めた。「批判されてもいい。届く相手がいるかもしれないから」

8/24 朝日